

第二ともの家のあった7, 8年前から内子のぶどう狩りに出かけています。
メンバーは色々と変わりましたが、少し遠出のお出かけにもかかわらず、皆さん大変喜ばれます。
広い園内を散策し、ぶどう棚から自分で選んだぶどうを取り、氷水に浸して食べる。
緑の中で食べるお弁当も格別です。
この野性味が、人間の本能をくすぐるのだと思います。
見渡す限りの緑陰。ふんわりくすぐる涼しい風。みずみずしい果実。「自分で取って食べる」
ことの喜び。
目でも肌でも味覚でも、自然そのものを感じることができます。
今回、末期がんの方もいましたが全員で出かけました。
「生きている喜び」を全身で感じるために、来年も続けられたらと願います。

